

# SCOUTING

2023  
No.758  
11

特集

## 新しい展開を見せる プログラム最前線!

第13回日本アグーナリー情報  
なぜ今、ローバー部門に力を入れるのか  
ローバースカウト集合訓練の報告



CONTENTS

- 02 第13回日本アグーナリー
- 06 なぜ今、ローバー部門に力を入れるのか
- 07 2023年度 ローバースカウト集合訓練  
～防災・減災でスカウトができること・やるべきこと～
- 09 スカウトの日 2023
- 10 野外活動のための安心・安全講座  
スマホの影響
- 11 ニッポン全国元気団紹介  
千葉県連盟 袖ヶ浦第1団
- 12 全団調査から見えてくる  
ローバースカウト部門の状況と課題
- 14 ボーイスカウトとあそぼう！  
ワクワク自然体験あそび 事例紹介
- 15 第51回 全国ボーイスカウト写真コンテスト
- 16 ともに進もう  
ひとり親家庭等応援助成プログラム  
信仰奨励
- 17 創立100周年記念史「日本ボーイスカウト運動  
史Ⅲ」と『より良い世界の創造を目指して～日  
本ボーイスカウト運動100年史～下』の刊行  
について
- 18 ローカルホットライン
- 20 維持会員
- 22 10年の時を経て返ってきたジャンボリー帽子  
～25WSJのちょっといいハナシ～
- 23 スカウトショップ



# 第13回 日本アグー

来年の夏に8年ぶりに開催する「日本  
今号では、大会の基本情報をお知らせするとともに、過去の大  
皆さまから大会の魅力や参加スカウトの声などをお届けいたし

大会概要

会期 2024年8月8日(木)～12日(月・祝)

会場 福島・国立磐梯青少年交流の家(福島県耶麻郡猪苗代町字五輪原7136-1)

テーマ 「We Can! ふかめよう友情(ゆうじょう)、ひろげよう絆(きずな)」

大会規模 900人(予定/参加者、スタッフ含む)

Webページ <https://www.scout.or.jp/member/13na/>





## 大会実行委員長コメント

## 東北地方で初めて開催されるアグーナリー

4年に一度開催している国際障がいスカウトキャンプ大会「日本アグーナリー」は、新型コロナウイルス感染拡大のため2020年は延期となりました。改めて来年度に開催となり、大会実行委員会では皆さまを安心・安全にお迎えできるように準備を進めています。

13回目となるアグーナリーですが、東北地方での開催は初めてです。福島県内の国立青少年施設である磐梯青少年交流の家を会場としてプログラムをたくさん用意しており、福島の魅力を体験していただくための場外プログラムも計画しています。

今大会は、ボーイスカウトの加盟員だけでなく、地域の障がいのある児童も受け入れ、同じ時間を過ごします。これは私たちにとって大きな挑戦であると同時に、ひらかれたスカウト運動の使命だと考えております。風光明媚な磐梯山と猪苗代湖が皆さまをお待ちしております。



第13回日本アグーナリー 実行委員長  
高崎 友延 [ボーイスカウト福島連盟 副連盟長]

## ■ 現地説明会を開催（報告）

大会の準備状況や会場の様子をお伝えする現地説明会を大会のおよそ一年前となる以下の日程で開催しました。

来年の大会への参加を希望、または検討する指導者が集い、会場施設の視察を行うとともに、生活やプログラム、移動など各種準備状況を共有しました。また、障がい児スカウティングに関する情報交換も行い、大会への参加や日ごろの活動などについて参加者同士が話し、懇親を深める機会となりました。現地説明会の報告書は大会の Web ページからご覧ください。

日程：2023年8月19日（土）～20日（日）

会場：福島・国立磐梯青少年交流の家 参加人数：102人

## ■ 大会の参加募集について

実行委員会では、大会への参加募集の準備を進めています。募集開始は11月上旬頃を予定しており、各県連盟や大会 Web ページを通じてご案内いたします。

大会へは「予定申し込み」と「確定申し込み」の二段階での申し込みを検討しており、それぞれ時期は以下を予定しています。

予定申し込み：各団から所属県連盟への申し込み

**2024年2月末締め切り**

確定申し込み：各団から所属県連盟への申し込み

**2024年5月中旬締め切り**

※ 今後の実行委員会の検討により、変更となる場合があります。正しい情報は、11月上旬に公開する大会基本実施要領をご覧ください。



# ナリー

## アグーナリー」

会に参加したスタッフ、参加隊指導者の  
ます。

## Topics

## 大会プロモーション動画の紹介

大会の魅力を広く発信するためのプロモーション動画を大会 WEB ページで公開中！30秒のショート動画ですので、ぜひ皆さまの SNS などでもご紹介ください。

## 過去の参加者にインタビュー！

### 過去大会に参加して (アグーナリーの魅力)

当団は、障がい児団の参加隊として、第9回日本アグーナリーから第12回まで連続で参加させていただいています。閉会式でのスカウトたちのやり切った笑顔を見たときの感動が忘れられません。他県連盟や、海外スカウトとの交流をみんな楽しみにしています。

また、ドラム隊として出演の際は、日々のドラム練習に励み、開閉会式などで、大会のテーマソングである『かがやけアグーナリー』を演奏させていただいています。

### 大会に参加した スカウトの様子や声

アグーナリーでは、自団だけではなかなか体験出来ないプログラムに参加できることが大きな魅力です。

スカウトは、活動のサインを記録する「ドリームパスポート」にサインを集めたり、日々もらえるディアワードバッジや、ドリームアワードを楽しみにしています。準備段

大会に参加したことのない方はいろいろな疑問をお持ちではないでしょうか。第12回日本アグーナリーで、スカウトと共に参加した指導者の方、当時ローバースカウトで今回スタッフとして関わっていただく方にメッセージをいただきました。

階から各自が目標を持ち、スキルアップに努力しています。直ぐに結果(バッジがもらえる)が出るということが分かりやすく嬉しいようです。各アワードは、今もスカウトの宝物です。

### 全国の指導者、スカウトに向けて 大会への呼びかけのひとつ

神戸での第10回大会開催の折には、開催年まで3年ほどをかけて、介護章講習会を4回程実施しました。その講習会に参加したスカウトの多くが、大会で奉仕隊(現在のチャレンジグループ)に参加しました。中には、その後介護の仕事に就いた者もいます。

4泊5日の大会に参加するだけでなく、スカウト個々が取り組める課題を定めたり、上記のような講習に参加するなど事前準備をすることで、障がいに関する理解も深まります。ぜひ一緒に感動しましょう。技能章など進歩にも繋げてください。求められるなら参加隊の隊長として、サインできる細目は、サインさせていただきますよ。

参加隊、チャレンジグループ、指導者、みんなと一緒に楽しいアグーナリーにしましょう。



ボーイスカウト兵庫連盟 尼崎第25団  
ベンチャー隊 隊長 光造 久雄



第12回日本アグーナリーでは、教育学部に進学したということもありチャレンジグループ(CC)での参加を決めました。

ジャンボリーと比べると参加者数も会場も小規模なので最初は驚きましたが、だからこそ一度関わった人と何度も「また会えたね!」ができる大会でした。閉会式で、参加者もスタッフもみんなで作った大きな輪から、関わる人すべての大きな繋がりを感じ、参加してよかったな、と思ったことを覚えていています。

今大会ではCCの専門部会員として大会

の準備に携わっています。新たな出会いを楽しみにする気持ちはもちろん、前回の経験を伝え、参加してよかった、と思ってもらえるよう、そして普段の活動や日常生活に繋がる大会になるよう尽力したいと思っています。

私は、アグーナリーは人との関わりをとおして「共に」を楽しむ大会であると感じています。共に過ごすなかで、一人ひとりにある多様性に目を向け、ちょっと違う、けどなんか良い。そう楽しんでもらえたら良いなと思っています。猪苗代で会いましょう!

第13回日本アグーナリー チャレンジグループセンター専門部会員  
小馬 加奈子 [ボーイスカウト大阪連盟 高槻第4団]



# ノーマライゼーションから ダイバーシティ & インクルージョンへ

障がいのある人もない人も、平等に生きる社会『ノーマライゼーション』から、お互いの違いを認め合う社会『D&I』(Diversity 多様性 & Inclusion 包含)に発展してきています。これらの違いは個性であり多様な人が集まり刺激あふれる学び合うことで化学反応がおき、新たな価値が生まれる豊かな『共に生きる社会』を目指しているのです。これを体験できる場が、日本アグーナリー

です。

50年前、障がいのあるスカウトのために、合わせ

て指導者の情報交換の場としてアグーナリーは始まりましたが、社会の変化に伴い成長、発展し、今では参加者全員が、『共に生きる』ことを学ぶ大会になりました。障がいのあるスカウトは、日々のスカウティングの成果を新たな仲間の前で発揮できるよう準備し臨みます。ベンチャースカウトは大会運営の「奉仕隊」から、自ら『共に生きる』ことの課題に取り組む「チャレンジクルー」に変わりました。スタッフの中には障がいのある成人も加わり共に大会の運営を担っています。日ごろ障がいのあるスカ

ウトと触れる機会のない隊も『共に生きる』体験を求め参加しています。

お互いの成長をたたえあふ笑顔あふれる閉会式は、スカウト活動の醍醐味であり、アグーナリーのあいことば【WE CAN!】を実感できる場でもあります。「4年後の大会で、もっともっと成長した姿で再会しよう」という約束の場ともなっています。

アグーナリーを機に全国のスカウト活動においてもさらに「共生」が広がっていくことを願っています。



第13回日本アグーナリー 大会副実行委員長

櫻井 康博 [(元)埼玉大学教育学部教授/ボーイスカウト東京連盟 学識経験者理事]





# なぜ今、ローバー部門に力を入れるのか

ローバースカウト向けの集合訓練を実施するなど、日本連盟がローバー部門に力を入れています。それはなぜなのか。村田禎章総コミッショナーにお聞きしました。

今、わが国は、災害、貧困、平和への脅威など幾多の困難な社会課題に直面しています。スカウト活動でも、これまで以上に地域社会に関わり、こうした社会課題について考え、その解決に力を注ぐことが重要になっています。ローバースカウトの皆さんには、これまで培った精神、知識、技能、体力などを生かして地域社会により関与し、地域社会と協働して欲しいと願っています。

こうした活動をローバー自身が設定し、実行することが重要です。私たちスカウターの役割は、それを「支援する仕組み」を整備し、「結果を認める」体制を確立することだと考えます。日本連盟がローバーの皆さんと積極的に関わろう考えたのはこのためです。

2015年9月の国連サミットでSDGsが採択されました。その後アゼルバイジャンでの第41回世界スカウト会議において、従来7つだった「スカウト教育法」の要素に「Community Involvement」が追加されたのです。地域とつながり、問題解決に貢献していくことは、「より良き世界の創造」を標榜するスカウト運動にとってますます重要になっています。

ローバーはすでに富士スカウト章を取得するか、

同等の知識能力を身に付けた成人域の青年です。そうした皆さんが「自己確立に向けた訓練」「スカウト運動への奉仕」「社会への奉仕」を自発的かつ積極的に実施していくことが求められています。日本連盟ではそれを助ける情報や専門的サポートを提供し、訓練や事業などを、ローバーと共に作り上げていきます。プログラム委員会を中心に、ブロックや県連盟にもご支援をお願いしています。

中でもネットワークの構築と、活動へのきっかけづくりが重要です。全国ローバースカウト会議や大学ローバー隊との連携を密にし、活動のプラットフォームを広げていきます。

ローバーが地域社会で活躍すれば、スカウト運動が広がることにつながります。「他の人の役に立つ活動がしたければ、幸福な人生を歩みたければ、ボーイスカウトに入ろう」と、多くの青少年が考えてスカウト運動の門をたたくことに繋がると期待します。この国にとってスカウト運動が、なくてはならない存在であることを社会から今以上に認められる日が来ることを願っています。

(聞き手：広報委員長 磯山 友幸)



村田 禎章

奈良・北葛城第7団所属。  
2022年4月、日本連盟  
総コミッショナーに就任。  
現在、北葛城第7団 団  
委員長、奈良県連盟 理  
事を兼任。







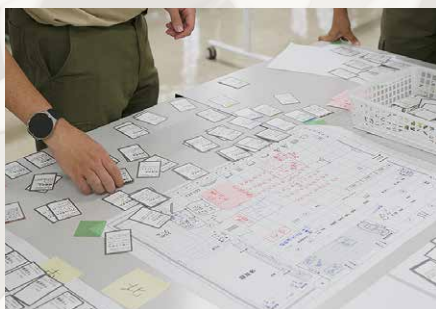
# 2023年度 ローバースカウト集合訓練

## ～防災・減災でスカウトができること・やるべきこと～

スカウトに求められるスキル、特に「防災・減災」については、日本連盟の設立まもない1923年の「関東大震災」での配給支援や国民学校運営支援はもとより、日ごろから「そなえよつねに」で準備していることと思います。

災害発生時は、日ごろのスカウト教育の成果を示す機会であり、ローバースカウトには、自らの命と生活を守るだけでなく、「人の役に立つ」ことを実証し、確認する場になると期待されています。このため「防災・減災」に焦点を当てた「ローバースカウトの集合訓練」を開催しました。

現在、日本連盟プログラム委員会では、ローバースカウトの教育の方法を再構築するために検討をはじめ、今回の集合訓練もその一環として展開します。参加者には、避難所運営の基礎知識の習得や、その中でスカウトスキルが役に立つこと、身につけるべきスキルや心構えについて理解が深まり、今後のローバーリングの指針となるよう実施しました。



避難所運営ゲーム (HUG)



避難所の情報を共有する掲示板



開設した避難所での就寝



CPR (心肺蘇生) 訓練



炊き出し訓練



消火訓練

### ■ 事業概要

**実施日** / 9月16日(土)～18日(月・祝) 2泊3日

**実施場所** / MOA大仁研修センター  
(静岡県伊豆の国市)

**参加者** / ローバースカウトおよび同年代の指導者 17県連盟から41人  
(男22人、女19人)

### ■ プログラム概要

事前課題：参加申込者には、参加案内とともに事前課題を与え、オンラインおよび動画配信による事前講義を行った。

#### 1日目

- 地震災害や被害想定としている東海・東南海地震等の説明
- 静岡県が開発した図上訓練の避難所運営ゲーム (HUG)
- 発災～屋外避難指示～避難所移動
- 参加者が地域防災組織として避難所開設準備～避難所開所
- 電気、水道、ガス等の途絶のための持参した保存食による夕食

#### 2日目

- 給水車や災害派遣医療チームの到着、備蓄食料を使った朝食
- 火災発生(消火訓練)、体調不良者発生【CPR(心肺蘇生)訓練】
- 食料他到着による炊き出し(昼食)、要配慮者への対応、
- 避難者のニーズの多様化への対応
- 事前講義からのFAQを含めた追加講義と訓練との連携
- 「災害時の情報伝達とコミュニケーション」「避難所で心の相談を受け付ける」等
- 2次避難の決定と避難所撤収指示

#### 3日目

- 炊き出しによる朝食
- 避難所の子どもたちを和ませるゲーム等レクリエーション
- 避難所撤収
- 参加者による成果発表等 (一部内容を省略して記載しています)





# ローバースカウト集合訓練参加者の感想

集合訓練の様子や参加スカウトの体験談は、日本連盟ウェブサイトです！  
要チェックです！



長崎県連盟 島原第1団  
末吉 美夢

今回の体験により、自分が今できることとできないことは何なのかを改めて考えることができました。避難所は一刻も早い判断を迫られ、そのうえ多くの人やさまざまな問題が押し寄せて来る環境です。すべての人や問題に対応できるわけではないです。しかし、その中でも自分ができるところを見つけ、いかに素早く行動に移せるかが重要なのかを実感しました。救護班で行った傷病者対応や物資班で行った外部支援団体との連絡といった大きなことから、避難者を避難スペースまで案内する時の不安を除けるようなちょっとした声掛けや気遣いといった小さなことまで自分が今できることを確実にやっていくことが大切だと思いました。

奈良県連盟 北葛城第1団  
山形 明日香

今回の集合訓練では、ハンディキャップのある方や高齢者などの配慮が必要な方への対応、動物を連れてきた避難者への対応などについて、さまざまな視点から考えることができ、勉強になりました。私は普段は看護師をしています。避難所運営の際には、避難者の健康調査や衛生管理を行い、健康調査では慣れない避難所生活での不安の傾聴なども行う必要があるとわかりました。

一番印象に残ったことは、実際の被災についての経験談を聞いたことです。自分と同年代のスカウトの東日本大震災での経験談について聞いた時、同じ小学生ながらにとっても壮絶な経験をしたのだと感じました。

全体をとおして、とても良い経験になりました。ありがとうございました。



静岡県連盟 焼津第2団  
畠山 佑紀

今後30年以内に70%の確率で発生するとされる南海トラフ巨大地震。集合訓練の開催場所であり私の地元でもある静岡県では、避難者数が130万人に達すると想定されています。

今回の集合訓練は、この大量の避難者に対応するための避難所運営に焦点を当てたもので、組織運営からメンタルケアまで実践的に学びました。その中で私が共通して重要だと感じたのは、さまざまな専門性よりもコミュニケーション能力でした。たった3日間の訓練でしたが、心にも体にも余裕がない被災者が自主的に運営しなければいけない避難所において、密なコミュニケーションは必須だと痛感しました。

この集合訓練に参加したからこそ得られた知識や経験を地域に還元できるよう、今後も努力していきたいです。





# スカウトの日2023

2023年度のスカウトの日は、9月18日(月・祝)を集中実施日として開催されており、全国各地で様々な活動が展開されています。今年度参加申込いただいた団にお送りしている活動資材は、「ECO(エコ)」と「SDGs」の観点から、毎日の生活の中の自分の行動を客観的にチェックできるようなアイテムとなっています。今号では、今年度の活動資材である「エコチェックボード」と「SDGsノート(生活編)」について、活用方法を紹介します。

※「エコチェックボード」および「SDGsノート(生活編)」は日本連盟 Web ページ「スカウトの日2023」にダウンロード版を掲載していますので、どなたでもダウンロードしてご利用いただけます。まだ使ったことがないという方はぜひ一度スカウトの日2023ページ(<https://www.scout.or.jp/member/scoutday-2023/>)を覗いてみましょう。



## 活動資材の活用術

### [BVS・CS向け] エコチェックボード

これからゴミ・水・電気に気づけた6日間の生活を実際にはじめよう!  
**エコチェックボード**

これから6日やってみようと思うことを「ゴミ・水・電気」のなかから5つ選んで○に色を塗ってね!! 必ずやるものも2つと合わせて7つのことやってみよう!! あうちのりに手紙でもらってもOKだよ!!

項目	内容	日にちを入れて毎日できたかどうかを○Xでチェック!!	合計
1. ものを大事にする	ノート、スリッパ、消しゴムなどを大切に使い、使えるものは壊さず使う。		
2. 早寝早起きをする	早寝早起きは、健康にも精神にもいい。早寝早起きをする。		
3. ゴミの出し方	ゴミ分別の箱(分け方)を知っていて、そのとおりにやっている。ゴミを出すときにちゃんと分別はしている。ゴミを燃やせるものは燃やせるゴミ箱に入れる。		
4. リサイクル	リサイクルできるものはリサイクルに回している。ゴミを分別して出す。リサイクルのマークがあるものはリサイクルにする。		
5. 紙を大切に使う	用紙の両面は、Xも用紙に使う。		
6. 買う前に考える	買いたいもの、本当に必要なものか。もう一度考えてから買うようにしている。何も買わないで済む。		
7. 残さず食べる	朝食や昼食のとき、残さず食べる。		
8. 部屋をきれいに	その日使ったものが、学校や自分の部屋をいつか汚らぬように掃除する。		
9. ポイ捨てはしない	出かけたとき、ポイ捨ては絶対にしない。		
10. 洗顔・歯みがきで節水	洗顔や歯みがきのとき、洗面所やトイレの水をためて使う。		
11. 手洗いで節水	手洗いのとき、必要以上に水をシャワーしすぎない。		
12. シャワーで節水	お風呂で髪を洗うとき、シャワーはこまめに止める。		
13. 洗たくで節水	洗たくの手洗いで、お風呂の残り湯は、洗たくに使う。		
14. 油ごれはふいてから	油ごれを拭き取ってから洗う。		
15. いない部屋の照明は消す	居ない部屋や廊下の照明は消す。		
16. エアコン温度をひかえ目に	エアコン(冷房)の温度は、冷房28度、暖房20度を目安に設定する。		
17. テレビの時間を減らす	テレビはつけっぱなしにしない。消すときはテレビの電源を切る。		
18. 冷蔵庫はすぐ閉める	冷蔵庫は開けっ放しをなるべく避ける。		
19. 使わないコンセントを抜く	使わないコンセントには、電源スイッチを閉めておく。		
合計			

**6日間のエコチェックはどうでしたか。**

- 36個以上 **あなたはエコ名人!!**  
その調子でこれからも続けよう。あなたの行動が地球を守っている。
- 25-35個 **おいしい、あと一歩!!**  
もう少し地球のことを考えてみよう。少ししいからできることを続けていこう!
- 24個以下 **残念。まだまだ!**  
このままでは地球がダメになってしまう。地球のためにできることは何か?

消しゴムで消して何度も挑戦!

### Step1

まずは、日ごろの自分の生活をふりかえる。

### Step2

その次に取り組んでみたい項目を5つ選んで😊マークをぬる。

### Step3

6日間チャレンジしてみて合計いくつ○がついたかを数えてみよう。



### [BS・VS向け] SDGs 発見ノート

SDGsの掲げる目標の中から自分たちの生活でできることを探すのはなかなか難しいものです。その行動がSDGsにつながっていることを見つけられるようにと今回のノートを制作しました。これをきっかけにもっとSDGsが身近に感じられるものに、そしてより具体的な行動ができるようになればと思います。

**SDGs 発見ノート【生活編】**

**SDGs チャレンジ!!**

- 1 食べ残しをしない。
- 2 水を大切に使う。
- 3 エアコンの温度をひかえ目に設定する。
- 4 電気を消す。
- 5 電気を消す。
- 6 エアコンの温度をひかえ目に設定する。
- 7 電気を消す。
- 8 エアコンの温度をひかえ目に設定する。
- 9 電気を消す。
- 10 エアコンの温度をひかえ目に設定する。
- 11 電気を消す。
- 12 エアコンの温度をひかえ目に設定する。
- 13 電気を消す。
- 14 エアコンの温度をひかえ目に設定する。
- 15 エアコンの温度をひかえ目に設定する。

SCOUTS for SDGs

**2 食べ残しをしない。**

### Step1

まずは、一つひとつの項目を見てみましょう。実は、こんなことがSDGsにつながっているのかと思えるでしょう。

**2 食べ残しをしない。**

### Step2

そして、今までできていたことややってみたことにどんどんシールを貼っていきましょう。

## 実施報告について

「スカウトの日2023」Web ページにて、活動報告を受け付けております。事前に参加申込していない団も、活動を実施してしましたら、ぜひ皆さまの活動内容をご紹介します。報告締切日は11月15日(水)です。皆さまからのご報告をお待ちしております。



## ■ 野外活動のための安心・安全講座

# スマホの影響



指導者、スカウト、誰もが持っているスマートフォン（スマホ）。スマホは我々の生活にとってなくてはならないデバイスになっており、大人も子どもも手放せないという人も多いのではないのでしょうか。今回はスマホの影響について考えてみます。

スマホは、調べる、見る、読む、遊ぶ、撮る、位置確認、支払うなど、大いに役立つ道具です。むしろそれがなくては行動が困窮してしまうほど頼りになる相棒です。しかし、そんな便利な道具でも、使い方ひとつで心身への計りしれないストレスの要因となることもある、ということを理解する必要があります。

近年、ゲームと SNS によるスマホ依存症が問題となっており、特に男性がゲーム、女性が SNS にはハマるといデータがあります。ゲームはいつでもどこでも気軽にプレーすることができ、興味を引く映像や音楽、ゲームの中で使えるポイントがもらえたり、世界中のプレーヤーと対戦しレベルアップしていくという、大人でも引き込まれる仕掛けが仕組まれています。よりいいアイテムを手に入れるために「課金」することにより、泥沼にはまってしまう人もいます。SNS は居心地のいいサイトを見つけると「自分を認めてもらえている」、「ここが私の居場所！」と感じ、ハマってしまうケースがあります。その反面、信じていた「私の居場所」で叩かれてしまうとへこみ、時には「自殺」を考えるに至ることがあります。

スマホの影響について例を挙げてみます。

- 勉強や食事や睡眠時間を削り、長時間をスマホに費やしてしまう。
- 夜更かしのため朝起きられず、遅刻や欠席が増え学業成績が低下。
- スマホが目の前にあると気が散ってしまい、集中力や認知能力が下がる。
- スマホが使えない環境になると不安を感じる。
- ネガティブなニュースや SNS の投稿に感情を揺さぶられてしまう。
- 情報をうまく整理できないと過剰な不安やストレス、イライラが募る。
- コミュニケーションが取れず、人間関係がうまくいかなかったり、友達関係が悪化する。
- 使用時間のことで注意されると、感情のコントロールができず当たり散らし、家族との関係を悪化させる。

この記事はスマホの使用自体を否定するものではありません。スマホに限ったことではなく、すべてにおいて「バランスよく」というのが大切です。「道具」は使いこなすものであり、「道具」に使われ、振り回されてはいけません。スカウト活動においても自分のスキルアップに、プログラム立案に、仲間どうしの連絡に、野営やサイクリングに、隊・班集会にと、大いに役立つこの「道具」を有効に活用してください。

## ルールを決めて、デジタルデトックス【一例】

スマホ依存から脱却するために時間や場所など、ルールを決めて使うようにしましょう。

- 娯楽のために使用するのは2時間まで
- 夜の9時以降は使用しない
- トイレやお風呂には持ち込まない
- 布団に入ったら触らない
- 一定の時間触れない
- アプリの通知をオフにする時間をつくる

あえて、意識的に無理なくスマホから距離を置く工夫をしてみましょう。最初は不安で仕方ないと思いますが、勉強時間を取れる、睡眠の質が向上する、ストレスが軽減する、自分で考える思考力が高まるなど、の効果が得られるはずです。





# ニッポン全国 元気団 紹介

## 千葉県連盟 袖ヶ浦第1団

房総半島の西部、京葉工業地帯の一角にある千葉県袖ヶ浦市。1997年の東京湾アクアラインの開通により、東京都や神奈川県へのアクセスの利便性が向上した同市は、近年人口が増加したという。そんな成長する街の成長著しい袖ヶ浦第1団に話しをお聴きた。



## 5年後、50周年を、100人の仲間とともに!!

### 4月以降12人のビーバースカウトが入隊!

袖ヶ浦市の中央に位置する袖ヶ浦公園で、袖ヶ浦第1団のビーバー隊は元気に活動している。ビーバー隊は、色とりどりの花々が咲き、多様な生物が生息するこの公園で、季節を感じるプログラムを重視しているという。そんなビーバー隊は本年4月以降、12人の新しい仲間を迎えたという(9月11日現在)。各小学校にチラシを配布してもらうなど、行政の支援も大きい。口コミで仲間が増えていくそうだ。楽しい活動が、その口コミの根底の一つであることはいまでもない。一方、団に関わる人がみんな仲良く、互いに協力してこの団を盛り上げていこうという雰囲気は溢れており、それも

また口コミの根底にあるものだろう。保護者の参画の機会も多く、カブ隊デンリーダーのみなさんも積極的に活動している。カブ隊では蛍の生態を組集会で調べて、隊集会で実際に見に行くというプログラムを展開したが、カブもさることながらデンリーダーはじめ大人もワイワイ楽しんでいたという。



### 「久留里1000年の森」へ!

袖ヶ浦第1団のボーイ隊の夏季野営は、君津市にある「久留里1000年の森」で実施される。この森は、多くの人に自然を知って、体験してもらいたいという願いから細山公朋さんという方がつくった森だ。細山さんが15年以上の歳月をかけて一人で荒れた山を地道に里山として整備したという。これまで既存の野外活動施設を利用してきたボーイ隊

であったが、施設の制約やルールを遵守することにより、より冒険的なプログラムなどの機会が失われることもあった。そうしたところ、細山さんの理解と賛同を得ることができ、数年前より「久留里1000年の森」で、よりワイルドな活動を実施することができるようになったのだ。カブ隊も同地でキャンプを実施し、傍らでボーイ隊の様子を見学したが、デンコーチはじめボーイ隊の活動に目を輝かせていたようだ。また、ベンチャー隊も同地を絡めた冒険旅行を実施するなど、「久留里1000年の森」は袖ヶ浦第1団にとっての「懐かしの森」になりつつある。



## 5年後、50周年を、100人の仲間とともに!!

昭和53年(1978年)に発団した袖ヶ浦第1団、5年後には節目の50周年を迎える。そんな同団の未来を団の皆さんはどう考えておられるのだろう。明るく楽しく面白い団になってほしいという声、今いるスカウトがずっと活動を続けて将来の指導者になってほしいという声、この団で育ってすてきな大人になってほしいとの声、大人になった時にも自分の居場所としてありつづける存在であってほしいとの声、など。

さまざまな声楽しく飛び交ったが、中には、子育てに悩む親同士の連帯感を育む場、ボー



イスカウトを通じて親として安心して成長できる場になってほしいという声が聞かれ、ビーバースカウトを中心に新しい仲間が急増している団の素顔を垣間見た。

袖ヶ浦第1団のスカウト数は、現在約50人である。野中浩章団委員長は、5年後の50周年を100人の仲間とともに迎えたいと意気込む。そして、100人の仲間と50周年記念の野営を「久留里1000年の森」で実施したいと語る。



団のfacebook  
はこちら



# 全団調査から見えてくるローバースカウト部門の状況と課題

今号に報告が掲載されている静岡でのローバースカウト集合訓練。テーマは「防災・減災でスカウトができること・やるべきこと」ですが、「できること・やるべきこと」がテーマになっているのは、ローバースカウトたちがそれに気づいていないのではないかという考えがあるからです。ここでは全団調査から見えてくるこの部門の状況と課題について述べていきます。

全団調査では、一昨年の全団調査2021と昨年の全団調査2022でローバースカウト部門に関する調査を行いました。

## ローバースカウトの多くは他隊の指導者として奉仕

まず、一昨年の全団調査2021から、多くのローバースカウトは他隊の指導者として奉仕していることが分かりました(グラフ1)。昨年の全団調査2022で主な活動を調べたところでも、「他部門への奉仕」が圧倒的に多いことが分かりました(グラフ2)。

ローバースカウトたちは、あまり「独自の活動」をしていないようです。

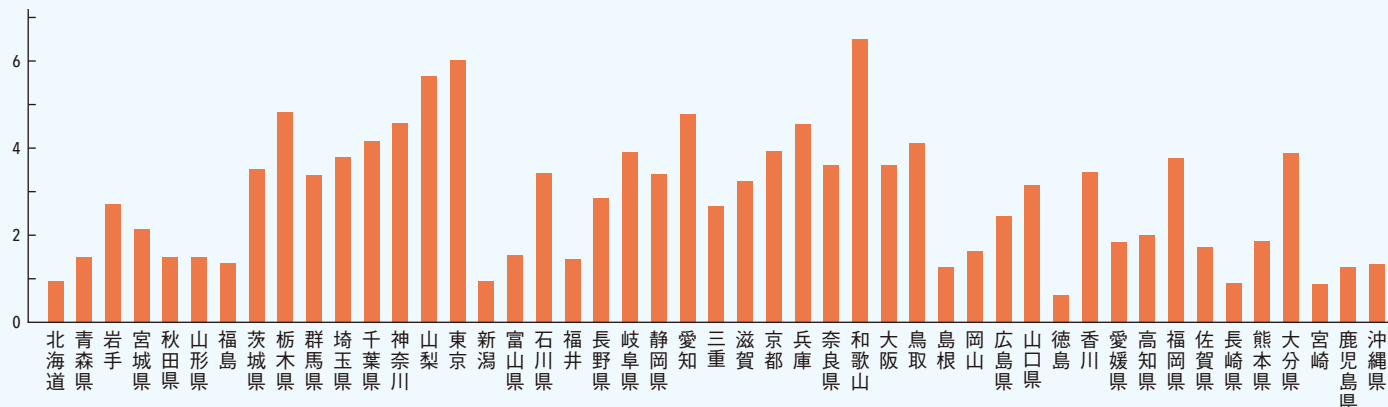
さらに「独自の活動」と考えられる「他部門への奉仕」以外のローバースカウトの活動を見ると、交流会やイベントの企画、地域活動への参画が大半で、仲間で集まって何かをするか、与えられた活動や行事に参加することが多いことが見えてきます。自ら企画する社会活動や奉仕活動は低調です。仲間で集まって何かをするか、与えられた活動や行事に参加するという点では、地区や県連盟でのローバー活動への参加も結構あるようです。

## ローバー隊の人数構成

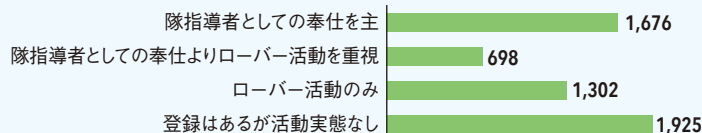
グラフ3を見ると、隊あたりのローバースカウトの数は、大学の多い都市部と、大学の少ない地方では、かなり差があります。地方でローバースカウト数が少ないのは、進学先がないため地元から離れてしまうスカウトが多いことが原因だと考えられます。さらに、グラフ1で「登録はあるが活動実績なし」のスカウトが相当数いるのは、地元を離れたけれど登録は本籍に残したままで、実際には何も活動していないローバースカウトが多いことを示しています。

### グラフ3 県連盟別に見た隊あたりのローバー数

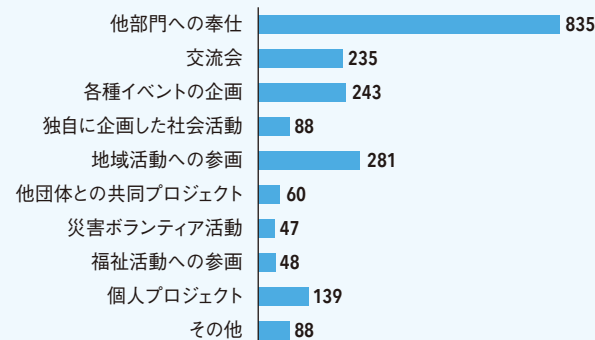
和歌山連盟は、和歌山大学ローバースカウトの人数が多く、平均値に大きく影響しています。大学ローバー隊は、多くのスカウトを擁することから、十分な活動ができる単位になり得ます。



グラフ1 全団調査2021でのローバースカウトの活動状況  
スカウトごとに状況を調査



グラフ2 全団調査2022でのローバースカウトの活動状況  
2021の内容をより詳細に調査(複数回答可)



団には、活動できるローバースカウトがほとんどいない実情があります。その中でローバースカウトが活動しようとする、人数が集まる地区や県連盟での活動が主体になるのは、やむを得ないでしょう。

そこで問題は、地区や県連盟でのローバースカウトたちがどのような活動をしているかです。残念ながら、全団調査は、各団への調査ですので、地区や県連盟の実態は分かりません。



## ローバースカウトの活動内容を探る

しかし、ローバースカウトが取り組んでいる個人プロジェクトについてはさらに詳細な調査があり、それによってスカウトたちの「発想」はうかがい知ることができます。そこから、地区や県連盟などのローバー活動の様子も推測できます。

では、どのような個人プロジェクトをしているのでしょうか。

個人プロジェクトの内容についての50数件の回答の中で、ベンチャー活動と同じか少しレベルを上げた野外活動が約半数。後は、ボーイスカウトでの行事への奉仕と海外派遣があり、ボーイスカウト外へ目を向けた社会貢献・奉仕活動は数件に留まりま

した。

これは、ローバー活動の前の段階のプロジェクト活動を中心としたベンチャー活動が十分にできていないことを意味すると思われます。さらにいえばその前の段階の班制教育を中心とし、野外での技能を学ぶボーイスカウト活動が十分にできていない。つまり本来、部門の目標として設定されている達成課題をクリアせずに上進している。そのような状況が垣間見えるのです。

これでは、ローバースカウトに「独自の活動」を奨めても、教育の目標にかなったものにはなりません。

## ローバー隊の状況

活動内容とは離れますが、ローバー隊の活動として教育規程にも明記されている「隊で定める自治規則」は設定されているか。

グラフ4に示されているように、半数以上の隊では、自治規則は制定されていません。自治規則がない隊は、隊としての目標の置きどころがないことになります。

また、グラフ5から議長などの代表スカウトも半数近くの隊が選任していないようです。

つまり半数のローバー隊は、規程どおりに活動していない。

しかし、グラフ3から、1人、2人の隊が多くを占めており、自治規則や議長を決めるまでもない隊が多いのも事実。規程どおりしていないのではなくて、できないというのが実情のようです。

## ローバースカウト部門の教育

以上のように見てくると、ローバースカウトが目標にかなった活動ができないのは、現にローバー活動をしている隊の人数や指導の環境と、この部門に至るまでの教育環境が原因であろうことがわかってきます。

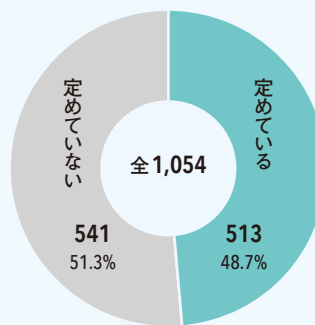
現在の隊の環境は、地区や県連盟、あるいは今回の集合訓練やローバーアカデミーのような日本連盟での取り組みで補完することが可能ですが、この部門に至るまでの教育環境は、ボーイ隊やベンチャー隊での活動をしっかりできるようにする取り組みが問われることだと思います。

ローバースカウトは、スカウト教育の到達点であり、スカウト教育の成果を身をもって示している者であるはずですが、そこができていないというのは、私たちの運動の価値が十分に高まっていないことを意味します。昨年度には『スカウト・青年の参画方針』が定まりましたが、方針は定まっても、青年としてのローバースカウトが、この運動に関わらせるに足る存在であるかも問われます。

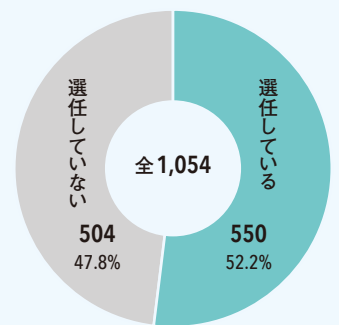
日本連盟としてローバースカウトたちへの支援に軸足を置いているのは、そのようなことがあるからです。

全団調査は、ローバースカウト一人ひとりに対しての調査ではありません。隊の状況を調べているだけではありますが、そこからもこの部門の課題が見えてくるのです。

グラフ4  
自治規則の制定



グラフ5  
議長などスカウトの代表の選任



### 教育規程より

#### 7-30 ローバースカウトの教育

ローバースカウトの教育は、スカウトが「ちかい」及び「おきて」を各自の生活に、より強力に具現化する機会を与えるとともに、自らの有為の生涯を築き、社会に奉仕する精神と体力を養うことを目指すものとする。

#### 7-31 ローバースカウト活動の目標

ローバースカウトの活動の目標は、次のとおりとする。

- 明確な信仰をもち、自己の所属する教宗派の行事に進んで参加する。
- 高度の野外活動により、心身を鍛錬しスカウト技能を磨き奉仕能力を向上させる。
- 自ら課題を設定し、調査、実験及び実習によってこれを研究し、自己の生活を更に開発する。
- ビーバー隊、カブ隊、ボーイ隊又はベンチャー隊の訓練指導に協力し、奉仕する。
- 地域社会への認識を深め、地域に貢献する。
- 国際組織、国際社会の一員として、相互理解を深め、国際活動、国際協力について学び実践する。

#### 7-32 ローバースカウト活動の実施

ローバースカウト隊の活動は、隊で定めた自治規則に則り、活動の目標を定めて運営され、スカウト自ら実施する自己研鑽と、隊が行う奉仕活動その他の社会活動によって行われる。

詳しくは日本連盟 WEB サイトの全団調査のページよりご覧いただけます。

全団調査 2022





ボーイスカウトとあそぼう！  
ワクワク  
**自然体験あそび**

**事例紹介**

今年度で事業実施4年目を迎えた「ボーイスカウトとあそぼう！ワクワク自然体験あそび」事業ですが、10月9日現在、全国で707会場の登録があり、各団のご協力により、実施会場数は昨年度を上回る勢いです。1人でも多くの子どもに自然体験あそびを提供できるように、引き続きご協力をお願いします。

**事例紹介 1**

**香川連盟 坂出第4団**

- 体験活動名  
割り箸鉄砲を作って遊ぼう
- 実施月日  
令和5年5月21日(日)
- 実施会場  
坂出第4団スカウト広場

**Point 1**

**いつもの隊集会で地域の子どもと遊ぶ**

予定されていた隊集會をワクワク自然体験あそびとして実施していました。この手法であれば、チラシを配付するほかは、基本的には隊集會の準備だけで展開ができ隊指導者へ過度の負荷もかかりません。

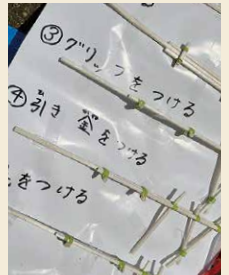
特別なイベントをわざわざ行うのではなく、いつもの隊集會をワクワク自然体験あそびとすれば、それほどの負担なく、回数を重ねることができるのではと考えています。地域の子どもに数多くの自然体験あそびを提供するためには「いつもの隊集會で地域の子どもと遊ぶ」という意識が大切で、これが地域におけるスカウティングの認知度を上げることとなります。

**Point 2**

**「自分でできた！」という達成感を大切に**

割り箸鉄砲の作成にあたっては、小グループごとに指導者が1人付いたほか、その手順は、実際の材料と同じものを使用し、とても丁寧に説明していました。それでも、やや苦戦気味の子どももいましたが、最終的には全ての子どもがなんとか自分で割り箸鉄砲を作り上げました。

保護者に「これ自分で作ったんだよ」と言う子どもの笑顔が印象的で、その子どもは「また、来たい」と言いながら割り箸鉄砲を使ったゲームに参加していました。



**事例紹介 2**

**北海道連盟 北見第2団**

- 体験活動名  
ひみつの森へ大ぼうけんにでかけよう！
- 実施月日  
令和5年7月29日(土)
- 実施会場  
北見さくら幼稚園

**Point 1**

**ローバースカウト年代の指導者が活躍、県連盟挙げての支援**

プログラム進行など保護者や子どもから見える部分は若手の隊指導者が担い、その他のスタッフは、サポートに徹していました。これは、保護者が「ボーイスカウトに入ると我が子がこう成長するのか」との姿を想像しやすいという点において効果的です。

また、保護者への説明は県連盟組織拡充委員会が行っていました。その方法は、保護者を全員集めて説明するというものではなく、活動の様子を見ている保護者に声をかけて簡単に説明をするというスタイル

でした。形式的に行うよりも、保護者はしっかりと耳を傾けていたようです。

**Point 2**

**今後の隊集會の予定をしっかりとその場で周知**

ワクワク自然体験あそびの参加者にその場で翌月と翌々月の隊集會の予定を配付し、「また遊びに来てね」と誘っていました。こ

のように、一度参加した子どもに継続的に、体験活動の場を提供することは大切です。

また、保護者用のアンケートの最後に「今後も同様ののご案内を差し上げてよろしいですか？」という質問を設けて、「はい」と答えた方に隊集會の案内をするのも効果的です。



8月・9月の活動プログラム 《予定》

8月のテーマ 「なかよしのわ」

8月の活動は、「なかよしのわ」をテーマに、ネイバル北見でキャンプを行います。みんながのびのびと楽しめる、きょうりよくする楽しいキャンプを予定しています。  
ことしの夏のラストは、やっぱりキャンプでしょ!!!

《活動予定》  
8月15日(日) キャンプに合わせた準備・練習  
8月26日(土)~27日(日)  
ネイバル北見でキャンプ ※参加は自由です。

《ちょっとだけ・ネタしり》  
◎ 自由に旅を自分たちで、決めます！  
◎ 好きなものをたくさん自分たちでします！～  
◎ カヌーまたは舟にのって、海に出かけます！～  
～海が住む海へ臨海に出かけよう！～

9月のテーマ 「ファイアーマン」

9月の活動は、「ファイアーマン」をテーマに、活動を行います。  
9月1日は、初日の出、いつ来るのかわからない災害について、みんなで話し合い、ファイアーマンになります。

《活動予定》  
9月1日(日)  
9月24日(日)

新しいことには慣れずとも大丈夫、活動プログラムの進行中に、体験をお願いします！

# 第51回 全国ボーイスカウト 写真コンテスト

全国ボーイスカウト写真コンテストは、51回目の開催となります。

コロナ禍による活動の制限がなくなり、スカウト活動も少しずつ通常に戻ってきました。活動できる喜びを感じて全力で楽しむスカウトの笑顔やさまざまな活動の様子など魅力あふれる活動写真を撮影し、ご応募ください。

チャレンジ章「写真博士」や技能章「写真章」の取得にもつながったり、ボーイスカウトの魅力を伝える PR 素材としてさまざまな場面で使用されるかもしれません。たくさんのご応募、お待ちしております。



第50回全国ボーイスカウト写真コンテスト  
オンラインの部 最優秀作品

## 応募要項

### テーマ やっぱりボーイスカウトが好きだ！

応募部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 少年少女の部：<b>撮影者が中学生以下</b></li> <li>② 青年成人の部：<b>撮影者が高校生以上</b></li> <li>③ オンライン投稿の部：撮影者の年齢は問わない</li> </ul>
応募方法	<p><b>部門①②</b> 写真をプリントし、裏に応募用紙を貼って郵送してください [プリントサイズ：L サイズ以上四つ切以下]。応募用紙は日本連盟 Web サイト・当該ページから取得できます。</p> <p><b>部門③</b> Instagram を用います。応募したい写真を自身の Instagram アカウントに投稿してください。本文に「写真タイトル、コメント」そして、「# ボーイスカウトフォトコン51 (半角数字)」というハッシュタグを必ずつけてください。</p> <p>※同じ作品 (写真) を、<b>部門①②</b>と<b>部門③</b>「オンライン投稿」両方への応募はご遠慮ください。</p>
応募可能点数	撮影者ひとり5作品まで
応募期間	11月1日(水)～2024年2月29日(木) 当日消印有効 ※オンラインの場合は2月29日(木) 正午まで 選考：3月
結果発表	「スカウティング」2024年5月号および日本連盟 Web サイト・写真コンテストページに掲載予定
各賞	最優秀1点、優秀2～3点、入選 最大10点 ※部門ごとに審査いたします。

## 応募上の注意

- 応募は本人が撮影した作品に限ります。必ず、撮影者本人の年齢に応じた部門にご応募ください。
- 他者(保護者や指導者など)が撮影したと思われる作品が、スカウト名義で応募されていることが見受けられます。「少年少女の部」において審査対象とみなさない場合がありますので、正しくご応募ください。
- 応募用紙への記載や発送は、できる限り撮影者本人が行ってください。
- コメントの記載漏れが見受けられます。審査の参考になりますので、記載内容に不備がないか確認してからご応募ください。
- 入賞者には、写真データの提供を依頼します。応募用紙には連絡のつくメールアドレスを正しく記載してください。なお、スカウト本人がメールアドレスをもたない場合などは、保護者の連絡先を記載するなど、柔軟にご対応ください。また、写真データは入賞結果がでるまで破棄せずに大切に保存してください。
- 応募作品は、2023年1月以降に撮影した未発表のものが対象です。肖像権を有する人物および建築物などが写っている場合は、応募に際し、権利者(未成年の場合はその保護者)の了承を得てください。
- プリントでの応募の場合、応募作品は返却しません。
- 応募作品は、日本連盟の Web サイトや本運動の普及に関する各種印刷物等に使用することがあります。応募時点で同意いただいたものとみなします。
- 撮影に当たっては、被写体の安全確保等に疑義を抱かせるような撮影方法(ヘルメットを外して自転車走行する等)は避けて撮影してください。



詳しくは、日本連盟Webサイトをご覧ください。

<https://www.scout.or.jp/member/51thphotocontest/>



# ともに進もう ひとり親家庭等応援助成プログラム

日本連盟では、経済的な事由により、スカウト活動への参加が困難なひとり親家庭を支援する「ともに進もう助成プログラム」を実施しています。

皆さまからの厚いご支援のおかげで本年は230人以上の子どもたち（ご家庭）に助成をお届けすることができています。

また、この助成の原資としては、皆さまに集めていただいた「書き損じハガキ」や「使用済切手」「中古本・ゲーム」などを換金して得た資金が大きな力になっています。ぜひ皆さまのご家庭にある不要品を子どもたちのためにお送りください。

詳しくはこちらをご覧ください。

<https://www.scout.or.jp/member/tomonisusumou/>



## クラウドファンディングのオンライン報告会を開催



昨年度、日本連盟として初めて挑戦したクラウドファンディングでは、300人以上の方からご支援をいただきました。9月25日（月）にこの報告会をオンラインで開催し、クラウドファンディング挑戦の歩みや実際に助成を受けたご家庭からの声などをお届けいたしました。

## Topics

### チャリティーアイテムの販売

チャリティー専門ファッションブランドのJAMMINとコラボして9月18日から24日までの一週間限定でチャリティーアイテムを販売しました。Tシャツやバッグなど商品売上の一部がチャリティーとして当連盟に入る仕組みであり、こうして集まった支援も「ともに進もう助成プログラム」として活用していきます。



## 信仰とプログラムについて

信仰奨励小委員会 町田 正照

「信仰」は本来、私たちの生活に密接に関わっているもの。皆さんは普段からどのように認識しているでしょうか。

進級細目をみると、ビーバー年代では、生活に直結する挨拶や感謝を述べること、ルールを守るといったことが、カブ年代になると「信仰」の言葉が使われ始め、年長部門になると、「奉仕」と「信仰奨励」が示されます。自分のできることから身の回りや地域に対して対象が変化していることが分かります。

年長部門になると、活動の一環でお祭りや行事への奉仕先として、神社、寺院、教会に行くことも多いでしょう。その際、これらの建立にいたった背景や、お祭りや行事の歴史や謂れといったことを奉仕先の地域の方や指導職から、その場でお話を聞く機会を作ってあげてください。まずと、その日の奉仕が信仰の機会となり、自分ごととして捉えられ、信仰心の高揚につながると思います。

続いて、普段の活動におけるスカウト自身による礼拝「スカウトOWN・サービス」の機会の活用です。信仰奨励章の中には、スカウトOWN・サービスで「自分ができる役割」、また「主要な役割」を果たすという項目があります。この礼拝の進行や運営、その中の発表（お話し）を前もって担当し、活動以外の日にも考える時間に行ってみましょう。

運営や発表をスカウトがやる場合は、前もって担当を決める「早割り（早い段階で役割を割り当てること）」で行うことが大切です。役割を割り当てられたスカウトは、何から始まり、どんな話しをするかを考え悩むことにより、自分の思いをふり返ります。その思いは自分の心に向くことで、自然と信仰への足がかりとなるのです。

また、早割りされることで、次に自分の担当の時に何を話すかと考え始め、担当を楽しみにするスカウトもいます。

他にもいろいろな方法があると思いますが、信仰を活動や生活の一部として捉えることで、信仰心を持ったスカウトを育てて頂きたいと思っています。

# 創立100周年記念史『日本ボーイスカウト運動史Ⅲ』（略称：運動史Ⅲ）と『より良い世界の創造を目指して～日本ボーイスカウト運動100年史～下』（略称：100年史・下巻）の刊行について

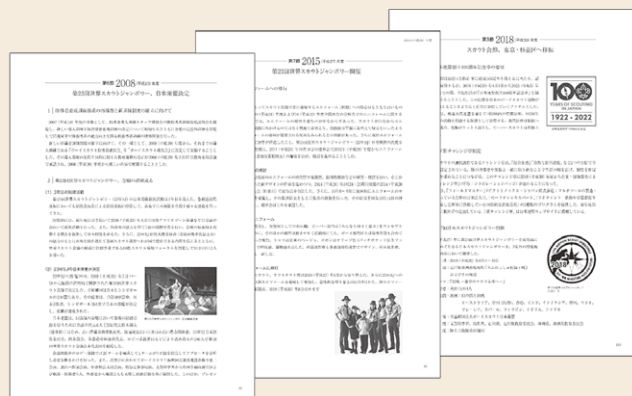
9月号でもお知らせしましたとおり、創立100周年を記念しての運動史Ⅲと100年史・下巻につきましては、当初、発行を2023（令和5）年秋季としていましたが、少し遅れて2024年2月完成を目途に鋭意編集作業を行っています。いずれも完全予約販売で、予約方法・価格・送料などにつきましては、1月号および日本連盟 Web サイトにてご案内します。

## 【運動史Ⅲ】

仕様：A4判上製本、本文384ページ予定、化粧箱入り

既刊『日本ボーイスカウト運動史（50年史）』、『日本ボーイスカウト運動史Ⅱ（80年史）』に続く81年（2003年）から100年（2022年）までの歩みについて、100周年記念事業を含めて詳述しています。

冒頭には、ボーイスカウト運動の創始者の生誕から世界的創立、日本への伝播、発展について「写真が語る日本のボーイスカウト運動100年」として、秘蔵写真によるグラビアページ（48ページ）を設けています。また、47都道府県連盟にもご協力いただいた「都道府県連盟の今日を築いた人々」と「発団の系譜」は県連盟ごとに、後者は100周年加盟登録団を発団年順に団名を掲載しています。目次をご紹介します。



## 【100年史・下巻】

仕様：四六判、本文304ページ予定

2022年4月13日発刊の「上巻」に続き、50周年以降の1973（昭和48）年度から100周年の2022（令和4）年度までの主な出来事を読みやすく記述しています。四六判ですので持ち運びができ、好きな時に読めます。運動史Ⅲのグラビアは、100年史・上下巻に連動しています。

## グラビア写真集「写真が語る日本のボーイスカウト運動100年」

### 第1章 日本連盟組織・運営体制の改編

2003（平成15）年度～2008（平成20）年度

- 第1節 2003（平成15）年度 日本連盟組織・運営に関する検討
- 第2節 2004（平成16）年度 世界スカウト運動創始100周年事業開始
- 第3節 2005（平成17）年度 新教育本部・新全国大会スタート
- 第4節 2006（平成18）年度 「風の不思議を突っ走れ!!」第14回日本ジャンボリー
- 第5節 2007（平成19）年度 第22回アジア太平洋地域スカウト会議、日本開催
- 第6節 2008（平成20）年度 第23回世界スカウトジャンボリー、日本開催決定

### 第2章 公益財団法人への移行と

第23回世界スカウトジャンボリーを目指して

2009（平成21）年度～2015（平成27）年度

- 第1節 2009（平成21）年度 機関誌『スカウティング』指導者全員購読が始まる
- 第2節 2010（平成22）年度 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟となる
- 第3節 2011（平成23）年度 都心に新スカウト会館
- 第4節 2012（平成24）年度 日本連盟創立90周年記念事業を展開
- 第5節 2013（平成25）年度 「和～WA～」第16回日本ジャンボリー
- 第6節 2014（平成26）年度 いよいよ来年！固きぞ準備
- 第7節 2015（平成27）年度 第23回世界スカウトジャンボリー開催

### 第3章 日本連盟創立100周年を目指して

2016（平成28）年度～2022（令和4）年度

- 第1節 2016（平成28）年度 熊本地震発生、防災・危機意識高まる
- 第2節 2017（平成29）年度 山中野営場閉鎖
- 第3節 2018（平成30）年度 スカウト会館、東京・杉並区へ移転
- 第4節 2019（平成31）/（令和元）年度 新型コロナウイルス感染拡大
- 第5節 2020（令和2）年度 新型コロナウイルス禍への対応
- 第6節 2021（令和3）年度 新型コロナウイルス禍の下でのスカウティング
- 第7節 2022（令和4）年度 日本連盟100周年記念事業の実施

展望／都道府県連盟の今日を築いた人々／発団の系譜  
／資料編・年表

編集：100周年記念史編集委員会／委員長 鈴木 國夫（先達・顧問）







## 神奈川 □ 完修チャレンジ章！

平塚第3団 団委員長 宮川 隆

発団62年を迎えたボーイスカウト平塚第3団で初めてチャレンジ章40種類を習得したスカウトが誕生しました。

馬場大嘉(ばばたいが)スカウトがチャレンジブックを完修しました。本当にすごいことです。

小野隊長はじめ副長からの叱咤激励を受け、見事獲得した章なのです。

馬場君はボーイスカウトに進しました。4月の入隊上進式において、団委員長より特別表彰され皆に紹介されました。さらなる活躍を確信しています。



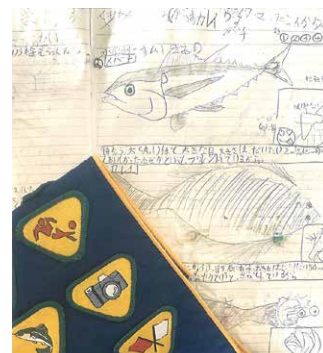
## 兵庫 □ 全チャレンジ章取得しました

神戸第53団 奥谷 進太郎

僕はチャレンジ章の全項目を取得して、鉱石の仕組みや地震、災害について自分の知らないことに興味を持つようになりました。特に楽しかったのはフィッシャーマンです。

魚釣りではたくさんの魚がザワザワしているのが印象的で、釣れた時はとても嬉しかったです。晩御飯では、自分で魚を捌いて作って食べたサバの味噌煮は今まで食べた魚料理の中で一番おいしく、命の大切さを学んだと共にますます魚が好きになりました。

チャレンジノートには刺身を食べて美味しかったものをランキングにしました。1番美味しかったのはマグロです！新しい項目に挑戦することによって今までできなかったことができるようになり、記事が増えていくことにワクワクしました。僕は他にも習い事をしています。ボーイスカウトは僕にとってその頑張ったことを伝えて認めてもらう家族のような場所だと思っています。これからもできることが増えるようにいっぱいチャレンジします。



## 兵庫 □ パイオニアリング講習 & 技能章審査会

阪神北地区 スカウト委員長 坂本 繁

6月初旬に兵庫連盟阪神北地区ではパイオニアリング講習・審査会を開催し、ボーイ3人、ベンチャー7人が参加しました。

熟練の達人審査員の指導のもと、設計図作成、安全対策検討を入念にやったうえで、四脚信号塔の製作に挑みました。

ふだんの活動で身につけたロープ技能とチームワークを活かして、とても頑丈な塔を作ることができました。



## 静岡 ◇ さだまさしとボーイスカウト

函南第1団 団委員 山本 知佐子

先日こんなことがあったのでご報告します。

NHKで“今夜も生でさだまさし”という番組があります。一か月に1度、深夜に視聴者からのハガキを“さだまさし”が読むという1時間半の番組で、もう2006年から17年以上続いています。

2022年の正月以来、さださんの中学・高校時代の同級生の福田信也さんという方からのハガキが紹介されました。福田さんは末期がんで闘病されていました。福田さんとさださんは長年音信不通だったそうです。それ以来、月に1度福田さんからのハガキを視聴者は気にするようになりました。そして残念ながら3月初めに

彼は旅立っていきました。

4月の放送の時にさださんから、福田さんが他界されたこと、福田さんにはボーイスカウトの仲間がたくさんいらしたと、裏方に徹してご奉仕されていたことなどお話しされていました。

そして6月にリリースされたさだまさしさんのニューアルバムの「中秋無月」という曲の中で、「ボーイスカウト」と歌ってくれました。

福田信也さんのようなリーダーがたくさんいるこの活動が、少しでも多くの人に伝わればいいのにと願ってやみません。



ご支援ありがとうございます

維持会員(敬称略)

2023年 7~8月度

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の皆様です。

【北海道】

齋藤 幸男
源彦 政一郎
和子 昭義
秀継 政義
満 立正佼成会能沼教会
英司 武
長岡 俊昭
徳永 教好
鴨下 泰久
樟本 賢首
B S 千歳 1
B S 苫小牧 2
BS釧路地区協議会
北見BS育成会

【青森】

黒澤 憲一郎
佐藤 正
葛西 俊人
入間 正智
和田 有平

【岩手】

奥田 耕一
千田 庄寿
三浦 弘次
山崎 義勝
B S 釜石 2
諏訪 神社
(株)岩手銀行
(株)元持菱和建設
(株)岩手銀行
(株)建設

【宮城】

郷家 照夫
佐藤 元通
芳賀 文蔵
菅野 五郎
荒井 嘉光
日下 清
(株)ごんきや
メード化粧品花京院
ラベンダーゆづり店

【秋田】

安田 孝司
藤原 隆
津谷 正毅
小嶋 文明
千葉 利昭
川尻 孝紀
熊谷 正司
中川 猛夫
吉田 一生
渡部 訓之
B S 秋田 4
(株)秋田クボタ
東光鉄工(株)

【山形】

大沼 保義
(株)山形新聞社
山形放送(株)

【福島】

齋藤 義一
西 徹
BS-G振興
県会議員懇談会

【茨城】

佐野 英樹
三浦 勉
青木 正志
西嶋 由貴子
久保 勝男
津久井 一茂
平澤 正則
菅原 英幸
吉田 誠
関彰商事(株)
【栃木】
中臣 正範

山本 勲
鈴木 亮仁
河辺 尚孝
河間 隆之
佐藤 耕一
太田 大州
中村 ちひろ
中川 和久
三塚 和学
杉山 智基
諸町 正進
伊藤 進
大川 正芳
根本企画工業(株)
ユアサモビリティ
サービス(株)
新昭和
【神奈川】
仲戸川 勲
葉袋 豊夫
矢島 隆生
若野 進一
根岸 鈴木
高野 英明
渡部 新公
原 康夫
中熊 重男
関戸 耕三
木村 耕三
井上 忠行
河村 育夫
作田 豊彦
石川 雄司
足利 靖弘
濱田 雅一
高橋 一夫
中川 玄一
伊藤 健三
川合 逸平
瀬戸 清規
太田 欣司
窪田 雄一
守屋 光高
相原 広幸
下田 正昭
境 紳和
中川 敏彦
京増 貴元
小山 孝元
前島 正彰
前川 裕一
上野 晋一郎
北條 賢一
竹内 和夫
海野 和俊
山本 明彦
前田 幸篤
BS伊勢原1
BS寒川2
BS海老名3
BS横浜10
BS伊勢原2
BS横浜43
BS川崎43
BS横浜65
BS横浜114
ソーイン・ジャック
(株)ホンマ電機
(株)古川工業

【山梨】
山岸 一芳
小倉 患一
西野 雅弘
河野 潤
榎本 亜樹
【東京】
平林 淳志
田尻 紀夫
今津 直記
堀 秀之
田辺 隆一郎
豊泉 喜一
津守 勝男
五十野 和男
船橋 眞一郎
大橋 仁
安野 哲子
杉原 正
倉持 和朗
奥村 勝利
塚谷 達雄
込原 欣一
中澤 征身
田中 隆澄
高谷 眞一郎
杉野 健一郎
岡村 實
増田 弘子
清水 正充
近藤 信行
浅野 邦正
智博
達彦
藤原 泰夫
昇
将広
正己
欽行
秀明
岡田 勇次
大川 昌宏
黒岩 達夫
久山 淳二
齋藤 高弘
萩原 謙一
松本 秀夫
山本 直美
永井 好敬
大坪 邦雄
平方 敏道
小林 和彦
大村 郁夫
村野 和男
菊池 悠機
熊坂 博文
藤岡 敏彦
高井 尚樹
理容 ひかる
和田 正仁
荒木 秀幸
杉野 いつ子
金柱 誠司
山田 想
大井 康裕
坂元 瑞夫
宮下 慎一
上中 義男
木村 照行
大山

岡本 稔
黒田 重春
石井 雄道
近藤 純誠
市野 洋一
大野 忠正
比地原 直美
鬼頭 宏
B S 北 1
B S 文京 3
B S 国分寺 1
B S 練馬 7
B S 東村山 6
B S 品川 6
B S 足立 4
B S 小金井 2
B S 西東京 2
B S 大田 3
B S 大田 4
B S 世田谷 6
さくら地区
スカウトクラブ
BS国分寺2育成会
BS文京5育成会
湯島天満宮
(株)KPMGFAS
新宿運輸商事(株)
(株)ジーティエヌ
(株)野屋金物店
(株)カクゴフコソ
渋谷商工(有)
東京東信用金庫
【新潟】
高橋 剛
遠藤 安一
三浦 伸一
尾崎 千尋
池 淳一
杉山 剛
関 憲一郎
高橋 周一
五十嵐 睦雄
山口 明夫
吉田 至夫
小林 基徹
高橋 雅人
幾野 知博
服部 新瀧
谷山 鉄信
廣瀬 重幸
勝野 雅和
松岡 弘道
佐々木 慶一
改田 哲
神山 勝治
加藤 芳克
高井 史樹
安藤 正敏
桂田 純史
大沼 純史
BS多治見1
BS大垣7
BS岐阜連盟育成会
中部事務機(株)
名鉄観光バス(株)
(株)ジー・サカイ
(株)マルエイ
名鉄観光バス(株)
アサヒ繊維工業(株)
(株)スズキ工業所
【静岡】
大須賀 和美
山城 厚生
土山 和雅

矢敷 雄一
桂記 章(株)
【福井】
古市 謙三
籠 義則
西川 法男
前川 俊弘
西畑 光廣
戸田 武憲
前田 健一
齋川 忠博
山縣 年博
藪内 正夫
羽木 好樹
赤崎 好治
清水 恵治
高見 和宏
酒井 善秀
【長野】
丸山 正一
西田 不折
丸山 輝子
林 一男
高野 隆治
松本 捷幸
村田 富士雄
藤川 富宏
矢口 恒善
武田 清孝
三枝 昭文
花岡 浩司
B S 茅野 1
B S 富士見 1
富士コムテック(株)
(有)東郷堂
【岐阜】
北條 昌彦
木村 芳郎
川田 基弘
広瀬 之彦
板津 敏彦
浅野 一行
三輪 常夫
松下 智恵功
中畑 晃一
蒲生 健弘
金子 友則
早川 宏治
服部 琢也
谷山 鉄信
廣瀬 重幸
勝野 雅和
松岡 弘道
佐々木 慶一
改田 哲
神山 勝治
加藤 芳克
高井 史樹
安藤 正敏
桂田 純史
大沼 純史
BS多治見1
BS大垣7
BS岐阜連盟育成会
中部事務機(株)
名鉄観光バス(株)
(株)ジー・サカイ
(株)マルエイ
名鉄観光バス(株)
アサヒ繊維工業(株)
(株)スズキ工業所
【静岡】
大須賀 和美
山城 厚生
土山 和雅

田代 高橋
高橋 渡辺
川島 吉川
富田 山松
永田 杉山
西村 和竹
内津 深津
勝又 鈴木
鈴木 孝治
富山 貞春
館 正義
三造 浩三郎
正 稔
大石 稔
山崎 茂樹
大澤 金森
村松 清一
高村 賢一
前田 寛
渡邊 聡
勝保 典
鈴木 美千雄
熊谷 幸彦
影山 知佐子
山本 良昭
BS静岡地区
BS磐田地区
【愛知】
水野 眞之
宇野 裕己
浅井 孝治
伊藤 利生
加賀 昌之
鈴木 睦美
齊藤 禎美
肥田 莊治
岩田 明武
足立 信之
三井 浅野
太田 和宏
梅村 清秀
平手 和一
石原 亮俊
西洞 正次
伊藤 孝尾
伊藤 康夫
大庭 俊彦
波多野 悦子
林 光男
沼澤 清勝
寺原 久男
伊藤 澄雄
田端 三義
近藤 博
山口 正春
加藤 忠雄
東頭 信夫
高多 宣章
船橋 鐸夫
櫻井 茂生
八木 幸夫
今井 芳夫

山盛 峰一
榊原 貞彦
山田 雅和
林 上直樹
中村 泰陸
小林 拓洋
鈴木 幸権
早川 敏雄
榊原 和生
鈴木 政明
神谷 敏之
藤牧 敏之
西尾 浩司
志水 幹美
藤井 友一
中村 哲史
近藤 慶子
佐藤 富久
水野 和歌代
横江 勤一
杉田 和文
中村 里美
岡本 勇夫
鈴木 正純
土川 信夫
竹内 尚彰
佐藤 榮一
長谷川 孝
杉江 宣明
浅井 義崇
足立 純一
吉野 博樹
渡辺 久高
福田 昭則
池田 光春
池田 典夫
木戸 公子
北川 敏智
藤内 和広
福安 金之助
奥田 敏夫
鶴田 恵造
成田 一彦
松岡 聡
BS名古屋1
BS名古屋79
BS東浦2
BS常滑2
BS北名古屋2
BS田原1
BS武豊2
BS大治1
BS津島3
BS大府2
BS瀬戸6
BS稲沢10
BS犬山7
BS瀬戸1
BS名古屋31
BS半田2
BS半田6
BS半田7
BS犬山5
BS豊橋4
BS豊川1
BS名古屋128
BS豊橋9
BS豊川7
BS豊須1

BS福沢6国府宮
スカウト育成会
BS豊橋12育成会
BS-宮10育成会
BS西尾11育成会
愛知スカウトクラブ
天野エンザイム(株)
福玉精穀倉庫(株)
大東工業(株)
松井建託(株)
佛立寺
(株)クロス技研
名鉄観光バス(株)
(株)アヤボ
(株)花井組
(有)みどり菓房 若葉
【三重】
服部 久司
山本 幹
小石川 巧史
金山 修
中村 敏一
田中 竜太郎
高橋 誠
宮崎 律子
樋口 晃嗣
金山 和代
筒井 まゆみ
吉田 則幸
辻 崇
生田 元典
BS四日市15育成会
BS伊賀1育成会
(一社)日本電気協会
中部支部
(株)アレクシード
(有)田口製作所
堀田建設(株)
【滋賀】
中野 幸彦
山本 健二
岡 宗夫
吉久 義則
小菅 邦彦
高垣 慶嗣
福原 洋
西村 政治
柳澤 伸次
中村 三之助
千 玄室
猪岡 敏一
山下 琢
八木 茂夫
西田 容太朗
津田 由貴
赤瀬 優
田中 公郎
清水 博
三木 一暎
辻野 正通
森川 勇一
榎原 良将
池村 将勝
安達 昌成
渡辺 孝史
桑原 仙溪
岡本 幸三
京都85育成会
京都市スカウト
振興議員連盟
石清水八幡宮
【兵庫】
山田 知輝
横野 雄美
川田 久雄
在川 勝賢一

Table of names and affiliations for the 2024 Scout magazine exchange, organized by prefecture (e.g., 池田, 昌行, 喜多村, etc.).

マンスリーサポート維持会員



7~8月に入会または1年継続された方々です。毎月1,000円から、クレジットカードでの自動引き落としによる維持会費のお支払いが可能です。

https://www.scout.or.jp/support/

Table of names and affiliations for the monthly support membership, organized by prefecture (e.g., 【栃木】飯塚 哲史, 【神奈川】吉原 滋彌, etc.).

新春誌上名刺交換のご案内

次号のスカウティング誌(2024年1月号)に、新年恒例「新春名刺交換」のページを設けます。全国のスカウト関係者への年始のご挨拶として、年賀状代わりにぜひご利用ください。皆さまのお申込みをお待ちしております。

Example of a New Year greeting card with the text: 謹賀新年 今年もよろしく, ボーイスカウト□□□□連盟○○○○地区, 委員長 鈴木 一朗, 〒167-0022 東京都杉並区下井草4丁目4番3号, tel 03-6913-6262 E-mail scouting@scout.or.jp



規格: 1口 24mm×62mm (横型) ■ 掲載料: 1口 8,000円 (税込) ■ 締切: 2023年11月22日(水) 必着 ※①②ともにお送りください。①原稿: Eメール、郵送にてお送りください。お申込みは、最大66口(1頁33口×2頁/見開き)まで承ります。自筆原稿、イラスト、ロゴを入れることも可能です。企画サイズのデータを作成の上、ご送付ください。②送金方法: 下記いずれかの方法で締切までにお振込みください。1. 郵便振替 00130-1-56119 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2. 銀行振込 三菱UFJ銀行 春日町支店 普通預金 No.0383873 / みずほ銀行 本郷支店 普通預金 No.2855005 ※いずれも口座名は「公益財団法人ボーイスカウト日本連盟」 ■ お申込み・お問い合わせ先 ボーイスカウト日本連盟事務局「スカウティング」担当 03-6913-6262 (代表) / Eメール scouting@scout.or.jp





## 8年の時を経て返ってきたジャンボリー帽子

～ 25WSJ のちょっといいハナシ～

今年の夏、韓国で行われた世界スカウトジャンボリーにて、日本派遣団のブースにドイツのISTが8年前に開催された山口ジャンボリーのジャンボリー帽子を手にもって訪れた。

彼は『8年前の山口のジャンボリーの時、帰りのバスに急ぐ集団がいて、子ども達が走って帰ろうとしていた。その中の一人の男の子がこの帽子を落としたので、拾って渡そうとしたら、もういなくなっていた。できるなら直接返したいが、そのスカウトはどこにいるのか？』と訪ねてきた。

その時はそのスカウトには出会えなかったが、後日探したところ、帽子の持ち主であるスカウトが見つかり、帽子を返せることになった。

帽子を持っていてくれたドイツのIST

### Axel Scholl さんより

『当時、このキャップはとても人気で、たくさんの人が交換（スワッピングというジャンボリーの文化）したがっていた。自分もその一人で、日本のスカウトたちはこれをとても大事そうにしていたのを知っていたので、持ち主に返したいとずっと思っていた』

8年ぶりに帽子が返ってきた日本のスカウト

### 荒川 峻輔さんより

『不思議なこともあるのだと思いました。私が23WSJで落とした帽子はAxelさんによって海を渡り今、私の手の中にあります。昨日まで落としたことも忘れていましたが、その帽子が大切な23WSJの思い出を甦らせ、私を当時のころへと引き戻してくれました。』

この出来事は私のみならず、帽子を大切に保管し届けて下さったAxelさんはもちろん、様々な支援をして下さった方々、そしてボーイスカウトという関係があったからこそだと言えます。私は改めてこの場をもって最大限の感謝を申し上げます』



Axel Scholl さん



荒川 峻輔 さん

2024  
No.759

1

SCOUTING

次号予告 次号の『スカウティング』は、令和6年1月1日発行

## とぎれないスカウティング

1月号ではムービーコンテスト入選作品、JOTA-JOTIの様子などをご紹介します。また恒例の賀詞交換のページも。全国のスカウト仲間とのつながりを感じましょう。

なんでも投稿先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局『スカウティング』担当

〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 電話 03-6913-6262 (代表) Eメール scouting@scout.or.jp

**投稿規定**／本誌では読者の皆様からの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念品をお送りしています。投稿は、文字数400字で写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名、掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があります。また掲載できない場合もあります。あらかじめご了承ください。たくさんの投稿をお待ちしております。

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 『スカウティング』2023年11月号 No.758 令和5年11月1日発行

発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3

『スカウティング』は、全国のボーイスカウト指導者（隊指導者、団委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員）に1冊お送りしています。加盟登録住所にお送りしますので、住所の誤り、変更がある場合は団での登録住所変更の手続きをお願いします。住所変更の手続きがなされない場合、機関誌が発送できませんのでお早めのお手続きをお願いいたします。登録システムに伴い、①4月～8月に新規、追加登録申請が承認された場合：5月号から当該月号を同封にて送付（例：8月承認の場合は9月号に5月号、7月号を同封）②9月～翌年3月に登録申請が承認された場合：11月号から当該月号を同封にて送付。9月以降の「追加登録」で、5月号～9月号をご希望の場合は、日本連盟事務局『スカウティング』担当にご相談ください。バックナンバーの在庫がある場合はお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に間に合わないため、当該月号は次号に同封されます。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。詳しくは日本連盟 Web サイト <https://www.scout.or.jp> から、スカウティング誌のページをご覧ください。

©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2023 / 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局広報担当（代表 TEL：03-6913-6262）までご連絡ください。

日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp>

### ■訂正とお詫び

2023年9月号 P17「組織活性化戦略セミナー」におきまして、施設の名称を誤って記載いたしました。  
誤：愛媛県生涯学習センター 正：松山市総合コミュニティセンター  
深くお詫び申し上げますとともに、ここに訂正内容を記載させていただきます。

SCOUTING

デジタル配信しています！



機関誌『スカウティング』のデジタル版（PDF）を、読者の皆さんを対象に配信しています。デジタル版は、文字をコピーできますので、さまざまな資料に、簡単に引用できます。また、タブレット端末などに入れ、いつでも読むことができます。ぜひご利用ください。



# この度スカウトショップ東京は 御茶ノ水へ移転いたしました

リニューアルしたスカウトショップで

みなさまをお待ちしております。



SCOUT SHOP TOKYO  
Official Shop of the Scout Association of Japan

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-24-1 カスタリアお茶の水 103  
電話：03-6811-7100 定休日：水曜日、年末年始、棚卸日、その他  
営業時間：平日／11：00～20：00 土、日、祝日／10：00～19：00



遺言書をお考えの方に《未来へのラブレター》

Free Wills Campaign

イギリス  
発祥の

フリーウィルズ  
キャンペーン

# 遺贈寄付の 遺言書作成費用 助成します

ご申請期間：2023年 **9月25日**(月)から **12月31日**(日)

先着順

対象者 遺贈遺言を行う方

助成対象

士業、金融機関、公証役場等の支援機関による  
寄付遺言書作成 費用のうち「5万円分」を助成

お申込先はサイトまで ▶ <https://freewills.izo.or.jp/>



【少額からできる。財産の用途を社会貢献に使うことができる「遺贈寄付」】

人生の集大成の社会貢献として注目されている遺贈寄付。寄付が活発なイギリス発祥の【フリーウィルズキャンペーン（遺贈寄付遺言書 作成費用の助成キャンペーン）】を昨年に引き続き日本でも開催いたします。ご自身が助成の対象となられるか、まずはお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ：フリーウィルズキャンペーン相談受付

☎ **03-3868-7011** 9:00-18:00/  
土日祝除く

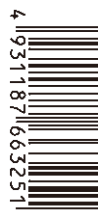
公益財団法人ボーイスカウト日本連盟を遺贈の  
受入れ先としてご指定いただくことが可能です。

SCOUTING 2023/11 **758**

スカウトイング  
発行 昭和33年12月15日 第3種郵便物認可  
令和5年11月1日発行（奇数月1日発行）

発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟  
〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3  
電話 03 (6913) 6262 (代)

定価 ¥200 (税込)  
郵便振替 00130-1-56119  
口座名義 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟



後援：内閣府  
Cabinet Office

法務省  
MINISTRY OF JUSTICE

日本公証人連合会

主催：一般社団法人日本承継寄付協会

L6-J 日本承継寄付協会  
LEGACY GIVING JAPAN